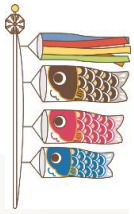
各戸配布

川路まちづくり役員会便り　第２号



『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！　２０２１年（令和３年）５月１２日

心配されました菜の花も天龍峡北駐車場横の幾島館跡で綺麗に咲いてくれました。かわらんべ河川敷は昨年ほどまでは無理でしたが、そこそこ頑張って咲いてくれました。しかし、今年新たに種を撒いた相沢川と留々女沢間の河川敷は、２割ほどしか育たず悲しい結果になってしまいました。そこで、心機一転気を取り直し、川路の河川敷を菜の花の名所にしようと、去る４月１９日に「川路菜の花愛護会」設立総会を開き、初代会長を田畑保廣さんにお願いしました。出来の悪かった原因を分析し、来年に向けて対策して参ります。又、相沢川と久米川の間の広大な土地を含めて菜の花畑にすることを決議し、まちづくり委員会も支援をすることになりました。一朝一夕では川路の菜の花畑を名所には出来ませんが、時間をかけて失敗しながら育てて参りたいと思っております。６月には種の採取、９月には草刈りと耕運、種蒔きが計画されております。種の採取には川路の子供達にも協力をお願いしようと計画しております。志に賛同頂ける方は是非ご協力をお願い致します。

幾島館跡の菜の花と愛護会設立メンバー

かわらんべ河川敷の菜の花

川路まちづくり委員会総会

川路まちづくり委員会の総会が４月１８日に開催され、新しい役員体制が承認されました。まちづくり委員会の会長は三区の今村正大さん、副会長は四区の平沢玲子さんと私七区の中島良彦。会計は８区の加藤陽子さん。安全推進委員長は七区の小池広志さん、健康福祉委員長は六区の中島寛人さん、環境保全委員長は八区の藤本正博さん、教育育成委員長は七区の小木曽みどりさん、公民館長は二区の今村裕治さん。各区の区長は、二区が関島勝司さん、三区が中平重秋さん、四区が橋本幸雄さん、五区が関島正憲さん、六区が清水正隆さん、七区が中島良彦、八区が小林好雄さん。以上の皆さんを中心に今後２年間まちづくりを担当させて頂きます。
今村会長の基本方針は、中島千明前会長の方針を継承して行くことですが、新たに川路の中期基本目標である「みどり本」の改訂に取り組んで参ります。又、７０歳定年の時代を迎え、まちづくり委員会の構成員は大部分の方が勤めながらの役員業務となりますので、勤めながら役員を出来る体制に変えて行く必要があります。そこで、まちづくり委員会業務の一部専従化を検討し、役員の負担軽減を検討して参ります。今年度は委員会会計の専従化を検討し、平日対応が必要な委員会会計の銀行業務を担当して頂きます。まちづくり委員会業務の一部専従化に関しましては、川路は飯田市の中でも遅れており、今後継続検討して参ります。又会議開催時間も勤めている方に配慮し、出来る限り短時間で終わらせる様に努力して参ります。
総会に関しましては、出席者が例年に対し２０名以上増え、９０人近い出席者が有りました。急遽椅子を追加する等嬉しい状況でした。今年度の役員の皆さんのまちづくりに対する高い意識の表れと思います。会議自体もスムーズに進行出来、良かったとお褒めの言葉を頂きました。しかし３役会の反省として、折角９０人近い方が出席して頂いておりますので、出席された皆さんが満足して頂ける様な情報の提供に心がける等の工夫が必要との意見もあり、次年度以降に反映して参りたいと考えております。
川路まちづくり役員総会も無事終わり、いよいよ新年度の活動が本格的にスタートします。
初めての役職の方も多く、最初は不慣れな為ご迷惑をおかけする場面もあるかと存じますが、一生懸命務めて参りますので宜しくご理解とご協力をお願い致します。

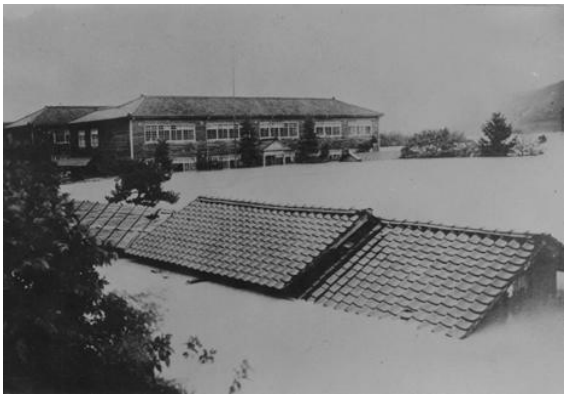
裏面もご覧下さい

３６災６０年記念式典

　あの忌まわしい３６災害から早いもので６０年が経ちました。川路まちづくり委員会としまして、６月２７日の日曜日に式典を計画しておりますが、川路にとって３６災害は決して風化させてはいけない重大な出来事であり、一部の関係者だけの式典ではなく、３６災害を経験したことの無い大勢の川路の皆さんに参加して頂き、記憶を後世に伝えて行って頂きたいと計画しております。とは言え、興味深い内容でなくては大勢の皆さんに来て頂けませんので、いくつかの案を検討中ですが、その一つに、川路まちづくり委員会と信州飯田岳風会川路支部の皆さんとの協働作業によります「構成吟」があります。今から１７年前の平成１５年に川路公民館で詩吟の大会が開かれ、主催者であった川路支部の皆さんが演じた構成吟に「水難の里に生きて」があります。３区の長谷部厚子さんの朗読「幼な子をお茶箱に乗せて泳ぐ」や、川路の皆さんが作られた３６水害に関する漢詩、和歌、短歌をスライドを背景に吟じて頂くものですが、当時の生々しい情景描写があり、長谷部さんの原稿を読ませて頂きましたが、胸にぐっと来るものがあり、きっと川路地区の皆さんに満足して頂けると思っております。一部当時の原稿に追加させて頂き、川路小学校の校歌と川路中学校の校歌を歌って頂きたいと考えておりますが、ここで大きな問題が発生してしまいました。３６水害後旧竜丘中学の空いていた校舎をお借りして開始した川路中学でしたが、その後竜峡中学川路部校、続いて昭和４０年４月に開校した竜峡中学に変わり、川路中学は幕を閉じてしまったのですが、その校歌の記録が見つからないのです。橋本國雄元まちづくり委員会会長は校歌に振り付けをしてよく歌ったと唯一記憶されておられる方ですが、正確な紙面での記録がなく困っております。**川路中学卒業の皆様の中で、紙面で校歌の歌詞、楽譜をお持ちの方は是非まちづくり委員会までご提供頂きたく宜しくお願い致します。**

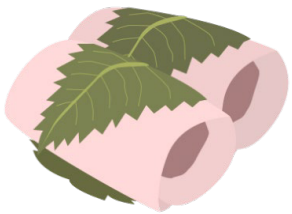
３６災　川路中心部

３６災　川路全景



３６災　川路小中学校

３６災　川路２区久米川流域

タウンミーティングは８月に実施します

　川路まちづくり委員会総会は、前述の様に大勢の方の参加を頂き、しっかりと審議して頂きましたが、各区の皆さんにまちづくりの役員がお伺いし、まちづくりの方針や活動内容をお伝えし、ご意見、ご希望をお伺いする「タウンミーティング」を一昨年より実施しておりますが、本年度も各区にお伺いし、まちづくりに関する様々な内容を一緒に検討させて頂きたいと考えております。但しコロナの影響もありますので、ご高齢の方のワクチン接種が終わる８月に予定させて頂きたいと考えております。皆様から貴重なご意見を頂き、出来る限りまちづくり委員会の活動に反映して参りたいと考えております。
その際は、是非ご協力を宜しくお願い致します。